令和6年度 学校運営協議会議事録

開催日時 令和6年5月10日(金) 10:30~

開催場所 東神吉小学校 会議室

【議事内容】

1 はじめに

- ・委嘱状の交付及び記載内容の確認
- ・マイナンバーカード登録用紙及び口座登録用紙の配付及び説明

2 児童の様子について

○学校長から4月・5月の学校だより等をもとに報告を行う。

【学校運営委員会委員から】

- ・本会のメンバーの組織表について示してほしい
- ・本会の目的等についても説明をしてほしい。
⇒別添資料「子どもの学びと育ちをささえる 地域総がかりの教育」リーフレットをもとに、学校の運営方針等について、学校と委員とで協議を行い、ご意見等をいただきながら、学校と地域、保護者が連携して学校運営を作り上げていくことを目的とした会であることを説明する。組織表については、別途作成し、後日配布する。

3 今年度の学校経営について

《教育目標と努力目標について》

○学校長から「令和6年度 学校教育目標」をもとに経営方針等を説明する。

【学校運営協議会委員から】

- ・子どもたちが行きたくなる学校づくりについて言及いただいた。いろいろな行事ごとがあり子どもたちが学校へ行きたいと思える活動を大切に取り組んでいただきたい。
⇒子どもたちにとって学校が楽しいと思える理由はなんでもよい。学習でも、給食でも、先生が面白いでもよい。子どもたちにとって楽しい学校になるよう取り組んでいきたい。不登校については、1学期10日が基準となり、市教育委員会にも報告をあげるが、4月についていえば、本校は10日に達した児童はいなかった。市内の学校をみてもおそらくめずらしい状態だと認識している。
- ・これまでは連絡帖に子どもたちが翌日の連絡等を書き、保護者はそれを見てサインをするようになっていたが、一部学年では、Chrome book を使用して連絡を行うようになった。私自身の経験では連絡帖があたりまであったため、当初は戸惑いもあったが、子どもたちは順応しており、毎朝 Chromebook をあけて確認をおこなっている。実際忘れ物も減っ

ている実感があり、取り組みとして大変良いと感じている。

⇒コロナ禍を経て、一人一台端末の支給が行われ、急速に ICT 化が進んだ。その中で ICT の活用は当然の流れであり、今後はどんどん加速していくものとする。教職員によって ICT の活用技能に差があることも事実だが、教職員が取り残されないように今後も取り組んでいきたい。

- ・全校児童が158名ということで、すべての学年が単学級であることから、いじめ防止のプログラムにしっかりと取り組んでいただきたい。また、人権意識の高揚について地道に高めてほしい。

⇒ご指摘の部分についてはしっかりと取り組んでいきたい。

- ・町内会長として子どもにどうかかわれば良いかの視点で考えたときに、世代間の交流に保護者、子どもが積極的にかかわってもらえるように、地域としても取り組む必要があるのではと考えている。町内会としても魅力のある行事づくりに取り組んでいきたい。ボランティア活動としての清掃活動なども一案であると考えている。地域との交流の場への積極的な参加に向けて取り組みたい。

⇒ボランティアの精神を高めることはこれから必要になる。機会をとらえ、ボランティアにもふれ、意識の高揚を図りたい。

- ・多様性の包摂について、学校長からお話があった。このことはいじめの防止にもつながると考える。多様性を認め合えるように児童への働きかけ等を行ってほしい。

⇒これまでも、機会をとらえ、子どもたちに問いかけることを行ってきた。今後も取り組んでいきたい。

○教育目標については皆様ご承認いただくということでよろしいか。⇒全員承認

《年間行事予定について》

○年間行事予定について、主だった行事等を学校長から紹介する。

【学校運営協議会委員から】

- ・運動会などの行事の際に学校へ訪問してもよいか。

⇒運動会の案内は資料に同封している。運動会、音楽会、参観日など連絡をいただければ参観いただける。ぜひお越しいただきたい。

4 その他

○教育アクションプラン等、付属リーフレットの説明を行う。